



自民金沢

Liberal & Democratic



発行所 自由民主党金沢支部
TEL.076-220-2385 FAX.076-260-5750
〒920-0962金沢市広坂1丁目1-1(金沢市役所内)
mail:info@e-jimin.jp
編集組織広報本部
自由民主党金沢支部HP
http://www.e-jimin.jp

新春号 1月1日(木曜日)

天下分け目の総選挙へ

『今こそ、時代を支える底力を発揮する』

新年のごあいさつ

昨年四月、厳しい諸情勢の許でその責任の重大さを感じながら支部長に就任いたしました。

市民生活の安定向上のためには、国政レベルで解決すべき課題は多々ありますが、県内でも一昨年は能登半島沖地震、昨年は浅野川流域に大きな水害が発生しました。これらの災害を機に従来よりも幅広く危機感を以て、しっかりと先を見据え対応して行かねばと肝に銘じております。

景気回復を最優先!

自由民主党金沢支部長
石川県議会議員(5期)
米田義三 よねだ・よしぞう

択であったと信じております。しかし、近い将来必ず執行される総選挙には党員一同一糸乱れず結束し、他党の耳触りの良い無責任な発言などに惑わされることのないよう県民市民のご理解とご支援を得るべく努力を重ね、自民党の勝利に繋げ、県民市民の負託に応えて行かねばなりません。皆様の幸福をお祈りするとともに一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

金沢市民の声を国政に生かす!!

目前に迫っている総選挙は、いかに一人でも多くの金沢市民の声を国政に反映させられるかに尽きます。その中で、石川二区の公認候補予定者である馳浩に課せられた使命は重いと自覚しています。政局で政策をほんろうし続けている野党に対しては戦闘能力を高めて行かねばなりません。

解散総選挙が近いと言われて早や半年。連日のように街頭演説、支援者や企業まわり、きめ細かいミニ集会に励んでいます。一方的なマスコミ世論で誤解を受けることもありますが、一つ一つの質問にはていねいに答え、理解を求めています。

やはり、対話の中にこそ政治は成果が得られるのであり、国家の未来を見据えた前向きな議論こそ



衆議院議員(3期)
馳 浩 はせ・ひろし

昭和36年生まれ、鳴和中、星稜高、専修大文学部卒。平成7年参議院議員初当選、同12年衆議院議員に初当選、以来3期。元・文部科学副大臣、前自由民主党副幹事長、現党文部科学部会長などを務める。著書には「ねじれ国会方程式」・「季節感、あふれる情景 白山麓。」など多数出版。

平成20年度 自由民主党金沢支部組織図

役職名	氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
最高顧問	森 喜朗	支部長	米田 義三	財務副委員長兼会計	野本 正人
	瓦 力	副支部長	北 篤司	事務局長	高岩 勝人
	北村 茂男		宮保 喜一	事務局次長	下沢 広伸
常任顧問	山出 保	幹事長	荒井 登	党紀委員長	上田 章
	馳 浩		米川久美子	党紀副委員長	横越 徹
顧問	岡田 直樹	幹事長代理	高村 佳伸	党紀委員	黒沢 和規
	斉藤此農夫	副幹事長	黒沢 和規		荒井 登
	高澤タマエ		下沢 広伸		村本 明美
	小森 貴	総務会長	黒田 晃紀	県・市議員会会長	下沢 佳充
	岩崎 信子		野口千代美	県・市議員会幹事長	北 篤司
	弥村 昭浩	総務会長代理	横越 徹	県・市議員会事務局長	高岩 勝人
	勝田 三郎	総務副会長	宮崎 雅人	校下部会連合会会長	荒井 登
	西村 直則	政務調査会長	浅田 明雄	校下部会連合会幹事長	黒田 晃紀
	神川 利男	政務調査会長代理	福田 太郎	女性局長	米川久美子
	不破 実	政務調査会長代理	安居 知世	女性局副局長	井野 佳子
紐野 義昭	政務調査副会長	東 良勝	女性局幹事長	野口千代美	
常任相談役	下沢 佳充	組織広報本部長	田中 展郎	青年局長	福田 太郎
	中村 勲	組織広報副本部長	久保 洋子	青年局幹事長	野村 圭作
木下 和吉	不破 大仁		青年部長	有田 康明	
相談役	玉野 道	吉本 外明	井野 佳子	青年部幹事長	高 誠
	澤飯 英樹	財務委員長	山野 之義	会計監査	岡嶋 平吉
					田辺 孝子



平成20年4月19日 金沢支部定例会

(写真提供:北國新聞社)